

“ゼミ形式”で行う、卒業生による実践的な就職支援プログラム 11/12(土)「武蔵しごと塾 ～課題発見とネクストアクション～」を開催

武蔵大学(東京都練馬区/学長 山崎哲哉)は、本学の3年生を対象とした実践的な就職支援プログラム「武蔵しごと塾」を2016年11月12日(土)に開催します。約35名の卒業生らが模擬面接などを行い、学生を個々の課題発見へと導きます。

「武蔵しごと塾」とは？

社会で活躍する卒業生による就職支援プログラム。卒業生から、さまざまな業種の仕事内容やこれまでの経験、就職活動をする上でのポイントなどを聞くことで、学生の就業観を高め、就職活動に向けた実践的な力を身につけることを目的とします。

Phase 1

11月講座:課題発見とネクストアクション

卒業生も含めたゼミ形式でのディスカッションや、模擬面接などの就職活動体験を通して、自分に足りないものを知り、克服するための方法を考えます。さらに卒業生との交流は、自己の将来像を具体的に描く助けになります。

Phase 2

2月講座:内定力強化講座(面接体験講座)

卒業生による本番さながらの面接指導や、エントリーシートの書き方指導を実施。徹底した個人指導で、学生の問題点を見出し、その場で改善につなげることで、就職活動における自己表現力を伸ばします。

▼課題発見とネクストアクションの様子



▲内定力強化講座の様子

《武蔵しごと塾 ～課題発見とネクストアクション～》

■ 日時：2016年11月12日(土) 13:00～19:30 ■ 場所：武蔵大学

◇内容説明、自己PR練習、グループディスカッション等(13:00～17:30)

自己PR練習を通して自己分析や面接の受け答えを社会人目線で評価してもらうと同時に、志望動機を掘り下げることで、疑似OBOG訪問を通じて働き方を知ることを目的とします。卒業生1～2名と学生4～5名の少人数で行います。

◇卒業生との交流会(17:30～19:30)

卒業生との交流会を通して、自分の志望業界の知識を深める、幅広い業界研究につなげるほか、先輩をロールモデルとして働き方について考える機会を提供します。

■ 参加予定卒業生の企業業種

金融、通信、電気、自動車、運輸、食品、建設、不動産、商社、保険、小売、印刷、化学、コンサル など

■武蔵大学 【アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分】 ～都心に近く 緑豊かなワンキャンパス～

東武鉄道や東京地下鉄道(現東京メトロ)など多くの鉄道事業に携わり、政財界で活躍した根津嘉一郎(初代、1860～1940)が、1922(大正11)年に“武蔵大学”の前身である旧制七年制武蔵高等学校を創設。その後の学制改革により、1949(昭和24)年4月武蔵大学(経済学部経済学科)開設。現在は、経済学部(経済学科/経営学科/金融学科)、人文学部(英語英米文化学科/ヨーロッパ文化学科/日本・東アジア文化学科)、社会学部(社会学科/メディア社会学科)の3学部8学科からなる文系総合大学。学長 山崎哲哉

—本件に関するお問い合わせ先—

武蔵大学 広報室 担当:山野・下川

〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1 TEL03-5984-3813 FAX03-5984-3727

E-mail: pubg-r@mml.sec.musashi.ac.jp